

# 新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付時〉

**赤字が第1版からの修正点**

R2. 6. 10  
第2版

専用階段、専用トイレの確保をする。（専用階段について、確保が難しい場合は、時間的分離・消毒等の工夫をした上で兼用することもあり得る。健康な人と兼用は不可。）

専用スペースと専用トイレ、独立した動線を確保できない場合は、濃厚接触者専用避難所を別途開設することも考えられます。

### 軽症者等（一時的）

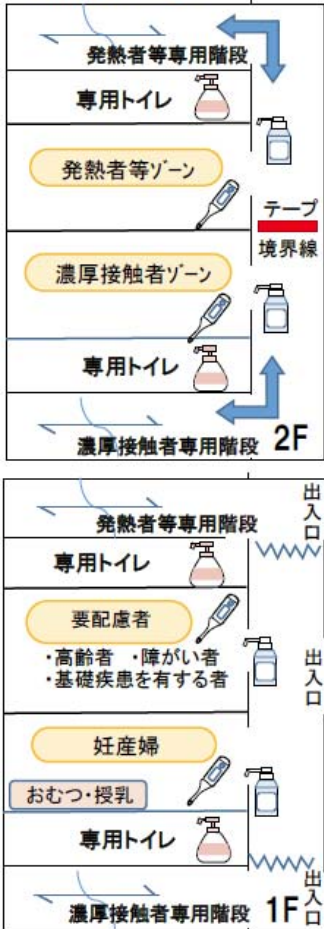
・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決め、本人に伝えておくことが重要です。

・軽症者等及び新型コロナウイルス感染症を発症したと疑われる人の対応については、防災担当部局と保健福祉部局等が十分に連携の上で、適切な対応を事前に検討する。

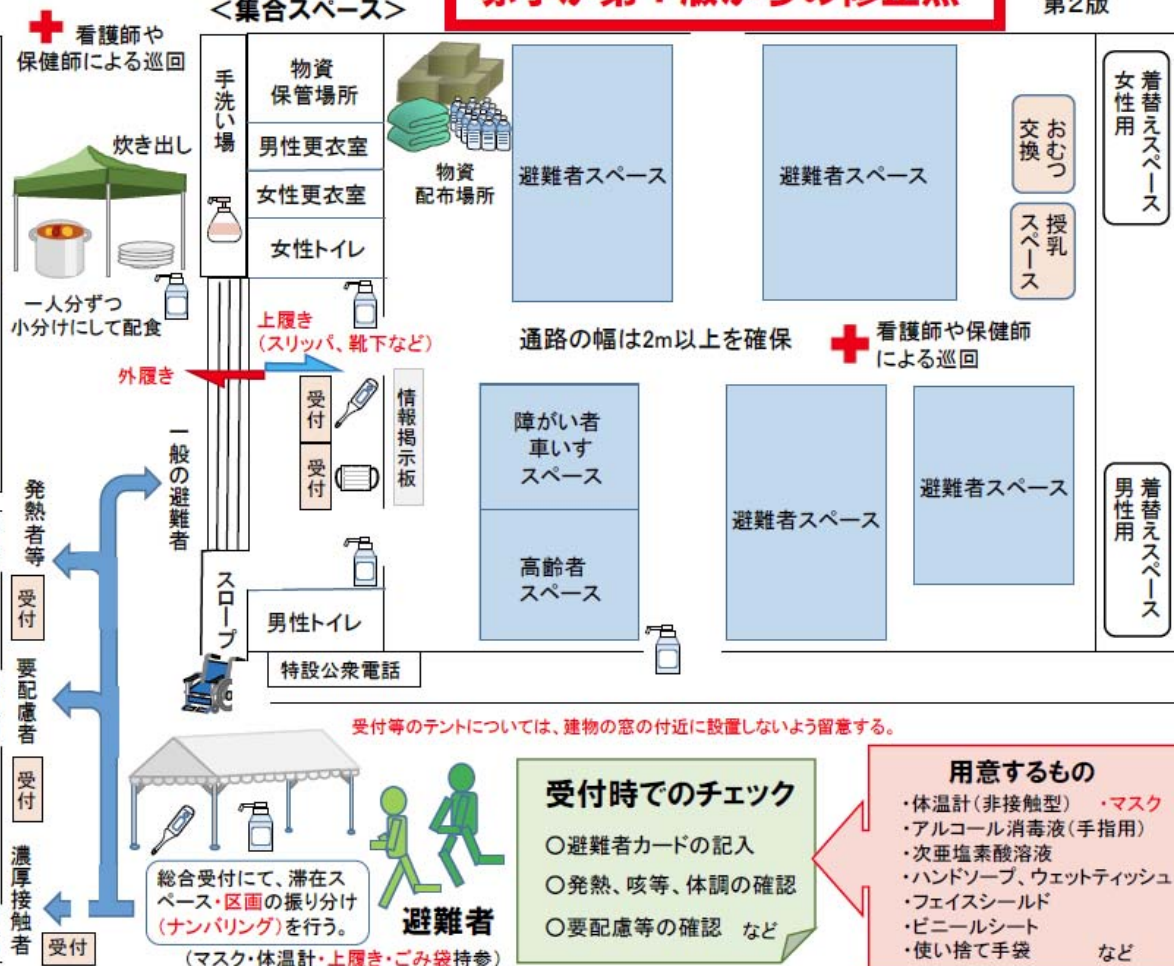
・軽症者等が一時的に避難所に滞在する場合、一敷地内の別の建物とする。  
同一建物の場合は、動線を分け、専用階段とスペース、専用のトイレ、専用風呂等が必要

※軽症者等であっても原則として一般の避難所に滞在することは適当でないことに留意する。

## 〈専用スペース〉



## 〈集合スペース〉



受付等のテントについては、建物の窓の付近に設置しないよう留意する。

### 受付時でのチェック

- 避難者カードの記入
- 発熱、咳等、体調の確認
- 要配慮等の確認 など

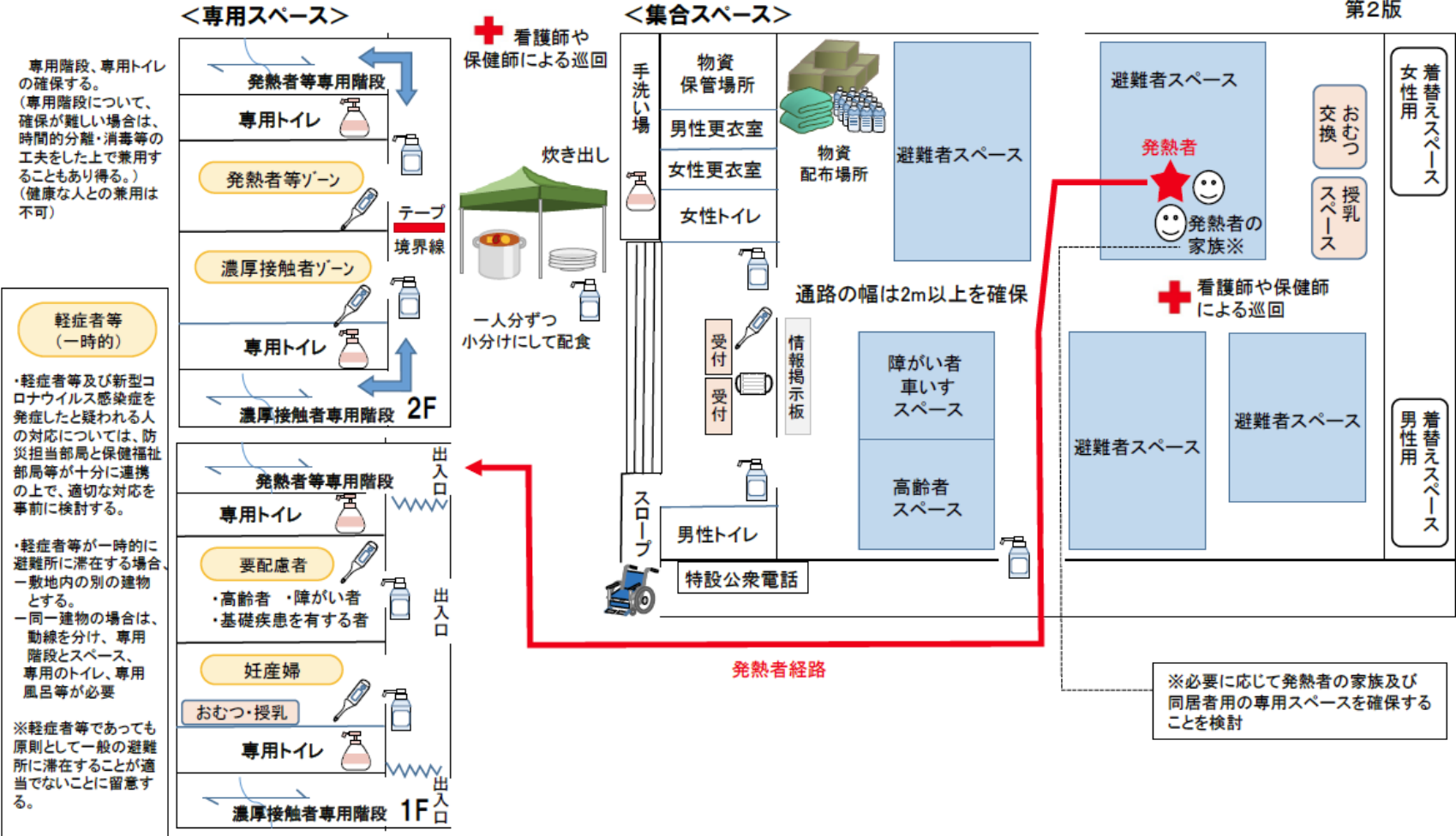
### 用意するもの

- ・体温計(非接触型) ・マスク
- ・アルコール消毒液(手指用)
- ・次亜塩素酸溶液
- ・ハンドソープ、ウェットティッシュ
- ・フェイスシールド
- ・ビニールシート
- ・使い捨て手袋 など

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

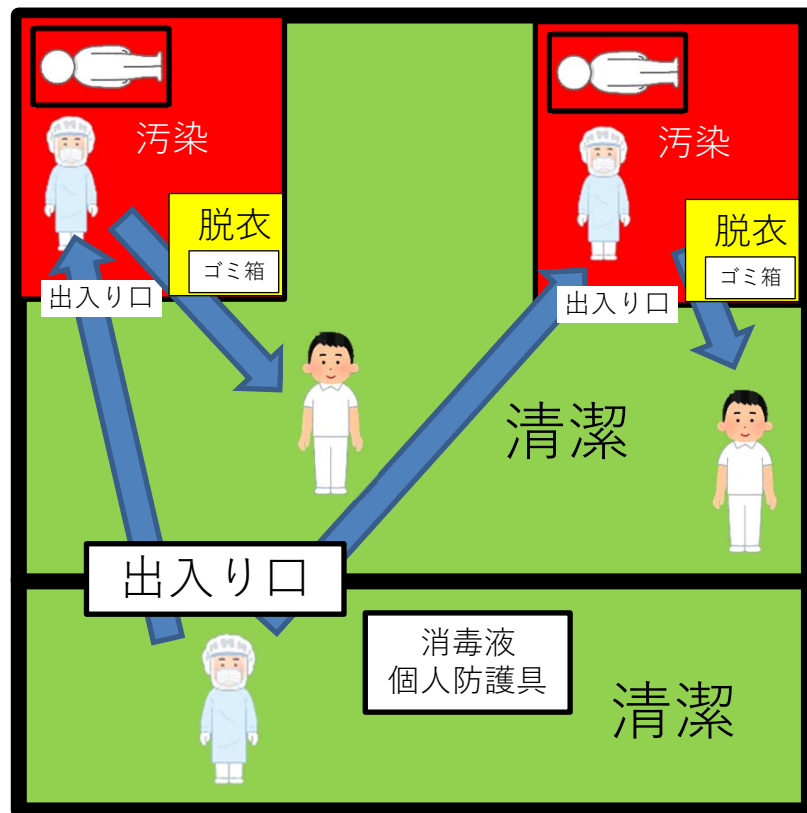
# 新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付以降〉

R2. 6. 10  
第2版



※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

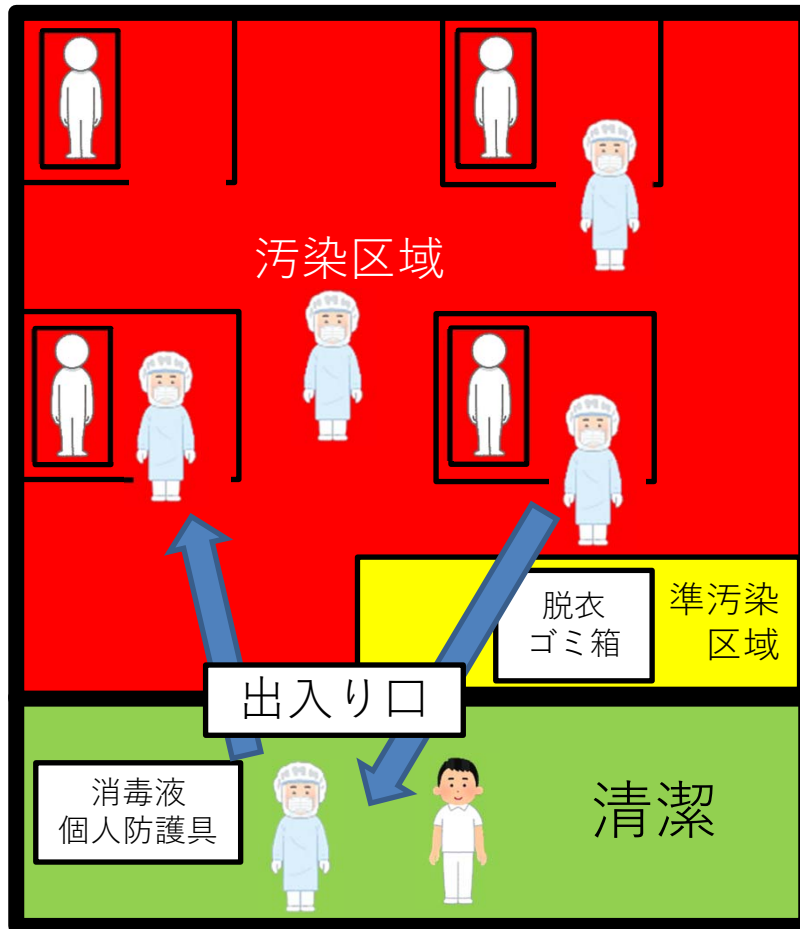
## 部屋・パーティション毎を汚染区域とする場合 (発熱患者や濃厚接触者など)



- 可能な限り個室が望ましいが、やむを得ず同室にする場合は、なるべく高いパーティション（少なくとも座位で**口元より高い**）で区切るなどの工夫をする。
- 人権に配慮して「感染者を排除する」のではなく、「**感染対策上の対応**である」ことを周知する。



## エリア全体を汚染区域として考える場合 (全員がコロナ確定患者など)



- 室内の全員がCOVID-19確定患者であるような場合や、徘徊などの理由でエリア内待機が守れない避難者が複数存在するような場合に、「**エリア全体**」を**汚染区域**として**ゾーニング**することがある。
- ただしこの場合も、**手袋だけは交換する**などして、避難者間の微生物の伝播や感染を最小限にするよう配慮する。



## Q14. 健康な避難者の滞在スペースにおける清掃や消毒は、どのように行えば良いでしょうか。

- 一見「健康な避難者」であっても、**今後何らかの感染症を発症**するかもしれない  
→病院における「**標準予防策**」（誰がどんな感染症を持っているかわからない）の考え方が重要になる。
- **自己アセスメント**（避難者健康チェックシート，別紙6）
- **高頻度接触部位**（ドアノブ，手すり，スイッチなど）のこまめな消毒
- **換気**の励行
- **石けん**や**手指消毒薬**の設置
- **物品共用を最小限**にする。
- 避難スペースから出る場合は必ず**マスクを装着**してもらう。



# 消毒の注意点

	アルコール	次亜塩素酸ナトリウム
ヒト（手指）への使用	○	×
濃度	通常70%前後	通常 0.02% (200 ppm) 便や吐物 0.1% (1000 ppm)
注意	<ul style="list-style-type: none"><li>ノロウイルスや<i>C. difficile</i>などに無効</li><li>プラスチック類は劣化のおそれあり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>金属を腐食させる</li><li>ゴム手袋を使用する</li><li>希釈後は密封・遮光し、使用期限は24時間とする</li></ul>

- 食器，リネン，衣類は80°Cで10分間処理して消毒する方法（熱水消毒）もある。



# 次亜塩素酸水

- 手指消毒には勧められない。
- テーブルやドアノブの消毒は可能。
  - 有効塩素濃度80 ppm以上の次亜塩素酸水をたっぷり使い，消毒したいものの表面をヒタヒタに濡らした後，20秒おいてきれいな布やペーパーで拭き取る。
  - 不安定な物質（濃度が低下しやすい）のため，冷暗所に保管し，早めに使い切る。



Q22. 避難所で炊き出しや弁当の受け取り，**食事**を行う際には，どのようなことに注意すべきでしょうか。

- **食事時**→「**マスクを外す**」ために，**飛沫感染のリスク**が高い。
  - 「3密」を避ける列の並び方や食事の取り方
  - **互い違いに座る，同じ方向を向く，時間をずらす**など
- 発熱，咳等の症状のある人や濃厚接触者は**自室で食べる**。食事の受け渡しは直接行わず，**各居室前において渡す**などとする。





Q23. ごみ処理はどのように行えばよいでしょうか。

- ごみを処理する人の個人防護具
  - 目の保護具， **マスク**， **手袋**， **長袖ガウン**
- ごみの処理
  - 発熱・咳等のある人や濃厚接触者のごみは，**ごみ袋を二重**にする， **外側のゴミ袋を消毒薬**で拭くなどする。
  - 基本的に一般廃棄物として処理できるが，あらかじめ**市町村の廃棄物部局と相談**しておく。



Q24. シャワーや風呂における留意点は何でしょうか。

- 掃除を行う人の個人防護具
  - 目の保護具，**マスク**，**手袋**，**撥水性**のある**ガウン**
- 毎日水は交換して**掃除**する。
- **遊離残留塩素濃度0.4 mg/L以上**を維持する。
- 発熱・咳等の症状のある人や濃厚接触者はシャワーや風呂を控えるが，使用する場合は**健康な人**  
→**濃厚接触者**→**発熱・咳等の症状のある人**，のよ  
うに順番を決める。



Q25. 汚れたりネン，衣服の洗濯に当たっては，どのように行えば良いですか。

- 体液などで汚れた衣服やリネンを取り扱う際の個人防護具
  - 目の保護具， **マスク**， **手袋**
- 血液や吐物などが付着したものは， **0.1%** **次亜塩素酸ナトリウム液**に**30分**浸漬し，臭いがなくなるまで**水洗い**してから，一般的な**家庭用洗剤**で**洗濯**して完全に乾かす。



Q26. 換気はどのように行えば良いのでしょうか。

- 気候上可能な限り**常時**，困難な場合はこまめに（**30分に1回以上**，**数分程度**，窓を**全開**する），**2方向**の窓を**同時**に開けて行うようにする。
- **窓が一つ**しかない場合は，**ドア**を開ける。
- 換気扇がある場合は，**換気扇**と**窓**の開閉を併用する。
- サーキュレーターや扇風機は**開けた窓やドアに向けて一方向**に作動させる。

